

昭和初期の香り漂う県庁舎別館。近代における山梨ゆかりの人物の功績等を紹介しています。

### 旧知事室

残された当時の家具類や写真などから、創建時の知事室の内装を復元しました。昭和初期の香りを感じてください。



### 県政歴史展示室

昭和初期の知事応接室です。当時の雰囲気を感じられる空間としました。中央のモニターで県政の歴史などをご覧いただけます。



### 3階 正庁

県庁内の特別な行事を行う場所です。残された写真から当時の姿に復元しました。年間10回程度講座等も開催します。



### 人物紹介室

テーマに沿って9人の人物を詳しく紹介します。中央では、近代化の象徴である中央線笹子トンネルの歴史を映像で紹介しています。

### ふるさと人物伝

子ども向けコンテンツ

### 「ふるさと人物伝」

キャラクターとなった人物のクイズを楽しみながら人生の転機などが学べます。



### 導入展示室

導入映像とともに50人の人物が皆さまをお迎えます。人物の功績や人物が残した言葉などをお伝えしています。



### 情報展示室

50人に関連するその他の人物や、人物ゆかりの地など、様々な情報を検索できます。

2階

### Information

開館時間/午前9時から午後5時(入館は4時30分まで)

休館日/毎月第2・第4火曜日 12月29日~1月3日

その他展示替え等により臨時に休館する場合があります

入館料/無料

## 山梨近代人物館

The Museum of

MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階 TEL.055-231-0988 FAX.055-231-0991  
http://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html



県庁舎別館展示施設  
山梨近代人物館  
昭和五年創建時の優雅な姿によみがえった県庁舎別館に「山梨近代人物館」が開館しました。



山梨近代人物館は、概ね明治時代から戦前までの間、農林業、政治・経済、国際交流、教育、芸術、学術など幅広い分野で活躍した人物の中から50人を選定し、この中から毎年2回ずつテーマに沿って9人の人物を紹介しています。

# 第4回展示「日本の文化を興した山梨の人々」

日本が近代国家として歩み始めた明治時代、さまざまな分野で欧米の文化・文物が流入した。この「文明開化」に伴って、日本の社会や文化も大きな変化に見舞われていった。こうした変化のなかで、傑出した先見性で新たな社会が求めるものに着目し、日本の社会に実現させていった山梨出身の先駆者たちがいた。彼らもたらしたものは、今の私たちの社会の礎となり、現在でも息づいているのである。



のぐち まさあきら  
**野口 正章**  
(滋賀県 1849~1922)

甲府柳町で醸造業十一屋を営む野口家に生まれる。甲府でビール醸造を試み東日本で最初の国産ビールとして販売。日本のビールの先駆者として名を残している。



いいた だこつ  
**飯田 蛇笏**  
(笛吹市 1885~1962)

近代日本の俳壇を代表する俳人。雑誌「ホトギス」で活躍したのち、句誌「雲母」の中心となり俳壇の活性化に取り組んだ。1932(昭和7)年、句集『山盧集』を刊行する。



さえぐさ うんたい  
**三枝 雲岱**  
(北杜市 1811~1901)

明治期を代表する南画家。花鳥画、山水画にすぐれ、明治天皇に献上された「玉堂富貴図」をはじめとした数多くの作品を残す。内国絵画共進会にも出品して褒状を受けている。



わたなべ せいしゅう  
**渡辺 青洲**  
(甲斐市 1840~1911)

養父の代から引き継いだ資料収集は「青洲文庫」と呼ばれ東京大学の貴重な古典籍資料として保存されている。市川紡績場の経営にあたるなど、県内の政財界でも活躍した。



こみやま せいぞう  
**小宮山 清三**  
(南アルプス市 1880~1933)

池田村(現在の甲府市の一部)の村長や県会議員など歴任。近代消防の普及に努め「消防の父」と呼ばれたほか、木喰仏を柳宗悦へ紹介し、木喰研究を推進した人物としても知られている。



なかむら せいご  
**中村 星湖**  
(富士河口湖町 1884~1974)

坪内逍遙らに師事し、自然主義文学の影響を受け、小説『少年行』を執筆。同作では、富士北麓地域の自然や風土と少年たちの成長を描いている。「山人会」の結成など活躍し、山梨県文化功労賞を受ける。



おおむら かずえ  
**大村 主計**  
(山梨市 1904~1980)

童謡「花かげ」の作詞者として知られる。詩人としての活動のほか、音楽業界や通信社等の要職を歴任し、山人会の理事長を務めるなど、山梨の文化振興に尽力した。



こんどう こういちろう  
**近藤 浩一路**  
(南部町 1884~1962)

墨の彩りが織りなす独特の画風を確立し、山梨や日本の風景を水墨で彩り豊かに描いた水墨画家。祖父は山梨県議会初代議長の近藤喜則。



ひぐち いちろう  
**樋口 一葉**  
(東京都 1872~1896)

24才で夭折した明治時代の小説家。両親は甲州市出身。代表作品に「たけくらべ」「ゆく雲」などがあり、若くして我が国の文学史上に光る作品を残した。